

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公表番号】特表2011-505463(P2011-505463A)

【公表日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2010-536093(P2010-536093)

【国際特許分類】

C 08 L 77/06 (2006.01)

C 08 K 3/26 (2006.01)

C 08 K 7/04 (2006.01)

【F I】

C 08 L 77/06

C 08 K 3/26

C 08 K 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

【表2】

表2

例	1	2	3	A	B
ポリマーA	57.3	57.3	57.3	59.3	59.3
ポリマーB	2				
ポリマーC		2			
ポリマーD			2		
充填材1	10	10	10	10	
充填材2					10
G F	30	30	30	30	30
剥離接着強さ、 N/cm	7.6	7.8	8.4	6.7	3.0

次に、本発明の好ましい態様を示す。

1 (a) 少なくとも約30重量パーセントの部分芳香族ポリアミド；

(b) 約0.5から約1.5重量パーセントの脂肪族ポリアミドおよび/または約0.5から約1.0重量パーセントのポリマー強化剤の一方または両方；および

(c) 約2から約2.0重量パーセントのアルカリ土類金属炭酸塩；を含む組成物を含む物品であって、

前記重量パーセントは前記組成物の総重量を基準にしており、ただし、前記組成物の少なくとも1つの面の少なくとも一部が金属めっきされている物品。

2 前記脂肪族ポリアミドが存在する、上記 1 に記載の物品。

3 前記部分芳香族ポリアミドが、イソフタル酸、テレフタル酸、アジピン酸、 $H_2N(CH_2)_nNH_2$ （ここで、n が 4 ~ 12 である）、および 2 - メチルペンタンジアミンの 1 種または複数に由来する繰り返し単位を含む、上記 1 または 2 に記載の物品。

4 前記アルカリ土類金属炭酸塩が炭酸カルシウムである、上記 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の物品。

5 少なくとも約 30 重量パーセントの部分芳香族ポリアミドを含む組成物を 1 種または複数の金属で無電解めっきおよび / または電気めっきする方法であって、前記組成物は、約 0.5 から約 1.5 重量パーセントの脂肪族ポリアミドおよび / または約 0.5 から約 1.0 重量パーセントのポリマー強化剤の一方または両方、ならびに約 2 から約 2.0 重量パーセントのアルカリ土類金属炭酸塩をさらに含み、かつ前記重量パーセントは前記組成物の総重量を基準にしている方法。

6 前記脂肪族ポリアミドが存在する、上記 5 に記載の方法。

7 前記部分芳香族ポリアミドが、イソフタル酸、テレフタル酸、アジピン酸、 $H_2N(CH_2)_nNH_2$ （ここで、n が 4 ~ 12 である）、および 2 - メチルペンタンジアミンの 1 種または複数に由来する繰り返し単位を含む、上記 5 または 6 に記載の方法。

8 前記アルカリ土類金属炭酸塩が炭酸カルシウムである、上記 5 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。

9 前記組成物が、前記組成物の無電解めっきおよび / または電気めっきを施す前に、酸性材料で処理された表面である、上記 5 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

10 前記酸性材料がスルホクロム酸である、上記 9 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 少なくとも約 30 重量パーセントの部分芳香族ポリアミド；

(b) 約 0.5 から約 1.5 重量パーセントの脂肪族ポリアミドおよび / または約 0.5 から約 1.0 重量パーセントのポリマー強化剤の一方または両方；および

(c) 約 2 から約 2.0 重量パーセントのアルカリ土類金属炭酸塩；を含む組成物を含む物品であって、

前記重量パーセントは前記組成物の総重量を基準にしており、ただし、前記組成物の少なくとも 1 つの面の少なくとも一部が金属めっきされている物品。

【請求項 2】

少なくとも約 30 重量パーセントの部分芳香族ポリアミドを含む組成物を 1 種または複数の金属で無電解めっきおよび / または電気めっきする方法であって、前記組成物は、約 0.5 から約 1.5 重量パーセントの脂肪族ポリアミドおよび / または約 0.5 から約 1.0 重量パーセントのポリマー強化剤の一方または両方、ならびに約 2 から約 2.0 重量パーセントのアルカリ土類金属炭酸塩をさらに含み、かつ前記重量パーセントは前記組成物の総重量を基準にしている方法。